

【対馬市観光振興推進計画策定業務／市民ワークショップ議事録】

日 時／令和８年１０月４日（日）１４：３０－１６：３０

場 所／上対馬総合センター 第１・２研修室

参加者／２８名

■下記の通り市民ワークショップを開催した。

①開会挨拶

対馬市観光推進部観光交流商工課の梅野補佐より開会挨拶を行った。

②「近年の観光動向と対馬の観光の現状」に関する説明

全国・世界の観光トレンド、対馬における観光の動向、対馬市観光振興推進計画及び市民ワークショップの目的について、受託事業者であるルーツ・アンド・パートナーズ佐藤より説明を行った。

③「市民ワークショップ」に関する説明

市民ワークショップの開催趣旨、進め方、ワーキングの内容について、受託事業者であるルーツ・アンド・パートナーズ佐藤より説明を行った。

④「対馬観光の課題や特徴」「対馬観光の目指したい姿」に関するワークショップ

「対馬の観光における特徴や課題」「対馬の観光における目指したい姿」について、グループごとに分かれてワークショップ形式で意見の抽出・共有を行った。

⑤グループワークの発表・まとめ

④のグループワークで話し合った内容について、グループごとに発表を行った。

⑥閉会挨拶

対馬市観光推進部観光交流商工課の築城課長より閉会挨拶を行った。

※ワークショップ結果については、別紙参照



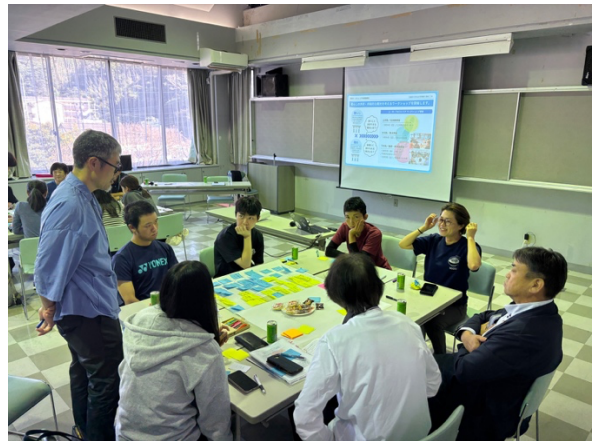
観光のトレンド・ワークショップの説明



ワークショップ全体の様子



グループワークの様子



グループワークの様子



ワークショップ発表の様子



閉会挨拶

(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

「国境の島」をテーマにした意見が圧倒的に多い

◎国境の島

- ・対馬の差別化
(国境の島の歴史)
- ・日本史と世界史の結節点
- ・争いを中和してきた技術・心
- ・韓国と日本の歴史的な関係を感じることができる
- ・他の日本の観光地と異なる独自の歴史的背景がある
(国境の島の立地特性)
- ・有人離島の中で外国から最も近い(ソウル→釜山→対馬)
- ・上と下に大都市が近い
- ・韓国から入ってくる外国人観光客が増えている
- ・韓国のインターン生が増加
- ・国防の島
(日本の源流)
- ・日本の原点、日本文化のルーツを見れる
- ・日本の田舎が見れる
(対馬の固有種)
- ・生物や植物の固有種が多い
- ・対馬ならではの生き物が多く、コアなファンが多い(野鳥、ヤマネコ、昆虫、植物など)

◎豊かな自然環境

- ・空が綺麗、海が綺麗
- ・自然の保全
- ・海が近い
- ・海・里・山がコンパクト
- ・自然の恵みをいただく暮らし

◎横展開できる課題・仕組み

- ・モデル地域になり得る、学べる
- ・参考にできるコンテンツがある

(対馬の観光の課題、困っていること)

交通、韓国依存、観光インフラに関する意見が多い

◎交通利便性の欠如

- ・国際ターミナルの狭さ
- ・循環バスが少ない
- ・バスなどの移動手段が少ない
- ・タクシー貸切ツアーができない
- ・交通網・交通インフラの不足
- ・町間移動が不便
- ・アクセスが悪い
- ・観光インフラの整備が必要
(道、駐車場、看板など)

◎韓国人観光客の依存・共存

- ・韓国人・外国人がとても多い
- ・韓国からの来島がないと儲からない
- ・観光が韓国人向けのものが多い
- ・日本人観光客が少ない
- ・海外の人に依存(観光、仕事)

◎休憩・ベンチが少ない

◎レジャー施設や遊べる施設が少ない

◎インバウンド向けのインフラ

- ・両替所の不足
- ・多言語対応できるガイド・コーディネーターの不足
- ・宿泊施設・寮が少ない
- ・外国人向けの案内や交通の改善
(厳原に向かうバスなど)

◎観光による地元経済循環

- ・自然・文化・歴史資源全てにおいて消費のルールがない
- ・フリーライド、善意・好意に乗っかっているだけで地元のお金になっていない

◎地元料理の不足

◎特産品の不足

◎情報の取得先の不足

◎海にゴミがあって汚い

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

移住促進、観光経済循環に関する意見が多い

◎島内の2次交通

- ・ライドシェア・カーが必要
- ・道路の整備

◎移住促進

- ・移住者が増えて欲しい
- ・空き家を活用して住む所を整備
- ・観光での来島がきっかけで移住してくる人が増えている
- ・韓国に興味がある日本人の移住

◎韓国人以外の国内・欧米の観光客の誘客

◎生活観光、観光経済循環

- ・「タダ」だと思っていたものが人とお金を呼ぶものに
- ・落ちたお金が資源を守り育てる次なる資金に
- ・住民が守ってきたもの、残して行きたいものが観光資源に

◎自然保護

- ・対馬の美しい自然を守りながら観光を発展させてほしい
- ・観光ルールを決めて自然保護

◎レジャー施設を増やす

(目指す観光に向けて必要なこと)

目指したい対馬観光の姿を実現するための取組み

◎観光PR・マーケティング

- ・観光マーケティングの実施
- ・対馬の魅力・価値の発信
- ・SNSを利用した地域PR
- ・旅行ガイド、パンフレット作成

◎観光コンテンツ・ブランド化

- ・観光商品を開発、選べる商品
- ・圧倒的な価値を創出する
- ・対馬の魅力・価値の最大化
- ・他地区との差別化、選ばれる島
- ・対馬の北の玄関、日本の玄関口をアピールする
- ・タダと思っているものをちゃんと観光商品に

◎地域文化の継承

- ・島文化の教育

◎移住者向けの空き家のシェア事業者による事業展開

◎対馬特産品の販売

◎観光のルールづくり

◎韓国語・語学教育

- ・韓国語の語学施設が必要
- ・言語学習に特化した施設・塾
- ・上対馬高校では韓国語を学べることをアピール
- ・国際教育の推進

◎観光財源の確保

- ・基金の整備による環境保全・人材育成(宿泊税、入島税…)
- ・売上の〇%を対馬の観光・環境産業に投資(海業で実践)

◎地域によるおもてなし

- ・地域住民を巻き込んだおもてなしの確立
- ・地域住民と行政が一体となって観光客をおもてなし

◎観光コンテンツ開発

- ・対馬を一周できる遊覧船
- ・対馬の文化・自然を体験できるような活動
- ・釣りの体験プログラム



(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

豊かな自然、外国人の移住交流に関する意見が多い

◎豊かな自然

- ・海が綺麗（赤島、三宇田浜）
- ・山が綺麗、比田勝の山
- ・自然に囲まれた生活の知恵、生きていく知恵を体験できる

◎食文化

- ・対馬の郷土料理
- ・魚が新鮮

◎ツシマヤマネコ

- ・野生生物保護センター
- ・ヤマネコはじめとした野生生物

◎景観・展望台

- ・韓国展望所
- ・美しい景観がたくさんある

◎外国人の受け入れ・交流

- ・韓国人観光客が多く、多様性を学ぶ体験がしやすい
- ・田舎だけど通勤族や外国人移住者が多くて停滞していない
- ・インターン生が多い

◎国際航路による旅行・貿易

◎免税店

(対馬の観光の課題、困っていること)

交通・観光マナー、下との格差、交通に関する意見が多い

◎交通・観光マナー

- ・交通マナーが悪い
- ・レンタル自転車のマナーが悪い
- ・観光バスの道の狭さ
- ・車や自転車のマナー。歩道がないところを歩く
- ・観光客の交通マナーが悪い
- ・地元との交流がなく、自分本位の行動が目立つ
- ・公共モラルを意識づけてほしい
- ・日本の生活・規則への配慮
- ・ポイ捨ての注意喚起
- ・自宅侵入、ゴミなどのマナー
- ・韓国人のマナーをよくする

◎オーバーツーリズム

- ・ランチ・ディナー難民
- ・バス車両のドライバー不足
- ・韓国の連休期間の宿の不足
- ・地元民の生活がないがしろ
- ・魚の産卵期間の禁漁が必要

◎地域課題を共有する機会不足

◎圏外エリアが多い

◎上対馬と下対馬の差

- ・雨が降ったら上対馬で行く所がない
- ・下対馬に比べて施設が少ない
- ・遊ぶところが少ない
- ・スーパーや飲食店などの店が少ない
- ・上対馬の物価が下対馬より高い（観光客が物価を上げている）

◎交通利便性の向上

- ・下対馬へのバスが欲しい
- ・バス事業者間の調整。8社もある。調整が必要
- ・ジェットフォイルの増便
- ・上対馬の交通の便が悪い
- ・島外に通院する方が不便
- ・電車がなし（厳原が遠い）
- ・島外・島内交通の接続が悪い
- ・国内航路・飛行機が不便・高額
- ・狭い国際ターミナル
- ・乗下船からターミナルの動線

◎漂着ごみ

◎屋外広告物の規制が必要

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

(目指す観光に向けて必要なこと)

交通、施設の充実、観光一地元共存に関する意見が多い

◎交通利便性の向上

- ・交通が便利な対馬
- ・電車があったほうが楽
- ・利便性が高い交通手段が確保

◎観光客・地元の共存

- ・観光客も地元住民も過ごしやすい対馬、観光を歓迎できる島
- ・交通マナーが改善されて地元民と旅行者が不自由に過ごせる

◎施設の充実

- ・多様な施設がある上対馬
- ・上対馬に買い物店を増やす
- ・遊ぶところが欲しい

◎日本人の観光客増加

◎ネット環境が整備された島

◎対馬の魅力を地元民が理解し誇りが持てる島

◎他産業・世代間との連携

交通、地域課題解決、施設充実にに関する意見が多い

◎交通利便性向上、マナー改善

- ・上対馬→下対馬のバスの増便
- ・上対馬→福岡のフェリー増便
- ・国内船や飛行機の減額による観光誘客
- ・交通マナーの改善
- ・自転車・レンタカーの交通ルールの周知・説明
- ・交通利用データを活用した採算のとれた交通ダイヤの検討

◎地域の課題解決

- ・同地域・同業種で地域課題解決
- ・空き家を活用した移住促進
- ・林業、農業、漁業の活性化
- ・民泊利用を通じた関係人口の拡大、人材不足の解消
- ・若い力を活用した移住支援、ビジネスの拡大

◎外国語の研修

◎Uターンの促進

◎施設の充実

- ・シネマ・カフェなどの店
- ・図書館、博物館など公共施設
- ・若い人が残るような施設
- ・子供の遊び場



(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

国境の島や魚・釣りに関する意見が多い

◎国境の島

(国境の島の歴史)

- ・半島と列島を繋いだ島
- ・飛び石のように繋いだ日本列島と朝鮮半島を
- ・神話の里
- ・国境離島としての歴史
- ・離島ならではの生き物戦略
- ・神社が多い
- (固有種)
- ・対馬固有の動植物
- ・貴重な野鳥や動植物を深掘り

◎人の温かさ

- ・濃密な人間関係
- ・人の温かさ
- ・壱岐の方が冷たい？都会化？

◎癒される島

- ・誰もが癒されるという空間
- ・睡眠がよく取れる
- ・肥えた人は来島すべき食と空気

◎豊かな自然

- ・対馬固有の自然
- ・海と山。海の景色

◎魚・釣り

- ・釣り場が多い
- ・スポット的に明るいところで釣りができる
- ・魚の種類は日本トップクラス
- ・高級な美味しい魚が四季折々旬が食べられる
- ・魚の掴み取り

◎韓国との交流

- ・韓国と日本の交流
- ・韓国人観光客が多く、交流できるかもしれない特異性

◎広い島

(対馬の観光の課題、困っていること)

観光客のマナーや食材などに関する意見が多い

◎島外からのアクセス

- ・アクセスが高い。日本からのお客さんが呼べない
- ・東京などからの直行便

◎対馬食材の不足

- ・対馬産の食材の料理が少ない
- ・対馬ならではの料理が食べたい
- ・高級魚が市内に出回らない

◎観光満足度の低下

- ・旅のコスパが満足してもらえずリピート率が低い
- ・移動時間が長く、疲れる、時間が足りない

◎行政資産の民間への譲渡

◎鹿や猪、テンによる道路横断

◎観光に対する意識のずれ

- ・業者と市民との観光に対する認識のギャップ
- ・観光による対馬の恩恵の発信

◎外国人観光客のマナー

- ・治安が悪化。地元の人が観光客を恐れている
- ・文化の違いを十分に認識させる学習が不足している
- ・交通ルールのレク
- ・観光客（釣り人）が危険な場所で釣りをしている

◎施設・サービスの不足

- ・宿泊施設が少ない
- ・遊びや学びの楽しみ方の多様性が少ない

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

様々なテーマについて意見が多い

◎日本人観光客の増加

- ・本土からの観光客の誘客・アクセスの改善
- ・本土からの来島者を増やす(学習旅行、高単価旅行)

◎環境・地域へ配慮した観光

- ・環境保全、自然を守る環境モニタリング、アセスメント
- ・地元・環境に配慮した観光

◎ルールを守る観光

◎観光への市民参加、交流

- ・観光産業を理解した市民が能動的に取り組む姿
- ・観光客と市民が交流する観光メニューの開発

◎学べる観光・体験

- ・大学生や水産高校生の学び舎、企業の保養所
- ・数日間満喫できるメニューで対馬を学べる観光

(目指す観光に向けて必要なこと)

交通、観光ツアー、観光人材に関する意見が多い

◎交通利便性の向上

- ・アクセスの改善
- ・都市圏からの直行便
- ・羽田空港の直行便(週1日)
- ・直行便がない離島との連携

◎観光への理解促進・参加

- ・地元民への説明・理解・還元
- ・対馬検定。島民みなガイド

◎観光のルール・知る仕組み

◎ソフトの満足度を増やすためのハード面の拡充

◎民泊の充実

◎港湾施設使用料を徴収して市民に理解を促すソフト事業

◎観光ツアー・プログラム

- ・3日間の観光メニューを事業者が協働する。ビジネス的に無理がないように
- ・探究心、意識高い人を呼び込むスタディツアー
- ・ナイトサファリ(野生生物)

◎観光人材の獲得

- ・産業人材不足を補うため、世界中から募集、大学設立
- ・OISTのような環境保全研究大学の誘致
- ・公務員のダブルワークや特定技能外国人の副業許可



(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

自然環境や人の温かさなどに対する意見が多い

◎豊かな水産資源

- ・水産資源が豊か
- ・魚が美味しい
- ・魚釣り

◎豊かな自然環境

- ・自然の美しさ、空気
- ・自然が豊か（トレッキング、カヤックなど）
- ・自然がいっぱい
- ・自然がそのまま残っている
- ・四季・自然の美しさ

◎国境の島

- ・日本から韓国が見える
- ・国境としての対馬の位置
- ・国境の島の歴史

◎豊富な歴史資源

- ・歴史好きにはたまらない宝庫
- ・天然記念物や史跡に指定されているものが多い

◎人の温かさ

- ・親切な人が多い
- ・もってけ文化、おすそ分け文化
- ・人が温かい、絆が深い
- ・応援してくれる人が多い、外から来た人にウェルカムな雰囲気

◎田舎らしさ

- ・「何もない」がある
- ・時間の流れがゆっくりしている

◎チャレンジできることが多い

- 魚釣り、魚捌き、お祭り、船祝い、野焼きなど

(対馬の観光の課題、困っていること)

韓国人観光客のマナー・観光人材不足に関する意見が多い

◎島民の観光に対する意識

- ・対馬の方の観光への理解度
- ・韓国の旅行者へのホスピタリティを向上させる
- ・島民の関わりをもっと増やす

◎韓国人観光客のマナー改善

- ・観光客がマナー・ルール知らず、地元民の反感の火種になってる
- ・許可を取らずに写真を撮る、個人の敷地に勝手に入る、交通ルールの違いによる事故…
- ・ポイ捨てが多い
- ・ゴミ処理。どこにでも捨てる
- ・レンタカーの使い方で困る

◎交通利便性の欠如

- ・車がないと何もできない
- ・高い交通費
- ・個人で来るには渡航費が高い
- ・対馬への行き方がわからない

◎日曜日夜の食事処少ない

◎観光人材の不足

- ・観光客は増えるけど住民が増えていない
- ・担い手不足の現状が周知不足
- ・人材不足で行き届くべきサービスが伝わらない
- ・上対馬高校の国文科の人数減少
- ・上対馬高校こそ国際交流課創設
- ・高校に水産科の創設

◎国内観光客の誘客・PR

- ・国内旅行者が少ない
- ・国内観光客が増えたら良い
- ・日本人観光客の割合が少ない
- ・国内にこそ魅力を発信

◎アクティビティの発信

- ・島内のアクティビティとかの予約窓口がわかりにくい
- ・魚釣り以外のアクティビティがあまり知られていない

◎お店の予約・営業時間の発信

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

関係人口・移住、観光受け入れに関する意見が多い

◎関係人口増加・移住の促進

- ・ワーケーション→移住・再来
- ・関係人口を増やし、対馬に帰って来れるリピーターづくり
- ・第2の故郷・対馬
- ・対馬のファンから対馬市民へ

◎観光満足向上、受け入れ

- ・訪れる方に優しい島
- ・観光客を受け入れられる島
- ・働き手も楽しくハッピーで、観光客も最高の観光地

◎このままの姿を残したい

◎景色を記憶に

◎地元の人だからできるガイド

◎補助金等のプラスの制度

◎飲食店を増やしてサービス時間を拡大する

◎九州からの旅行者の増加

◎若い力の活用

(目指す観光に向けて必要なこと)

観光人材、交通利便性に関する意見が多い

◎観光人材の確保・育成

- ・Uターン、Iターンしやすい環境づくり
- ・おてつたび、タイミー、上対馬高校生の活用
- ・学校と観光の連携
- ・外国人が働きやすい環境づくり
- ・対馬の人達にこそ対馬教育を
- ・対馬楽講座の上対馬開催
- ・受け入れるにあたっての教育

◎対馬ファンの拡大

- ・日本に住んでて観光が好きな人
- ・転勤で来てくれた人との繋がり

◎ガイド、マナー改善

- ・比田勝街歩きガイド
- ・Air bnbの民間ガイド
- ・韓国の方へ、ツアー・ガイドへのマナー伝達

◎観光ブランディング

- ・対馬じゃないといけない理由付加価値の創出
- ・どこに向けて発信しているのかわかりにくい
- ・対馬の国内認知度、「行きたい」イメージアップ

◎交通利便性の向上

- ・民間のUberタクシー
- ・交通アクセスの改善
- ・島外の方への旅費の補助
- ・来島旅費の補助を国に要望
- ・イベント時の帰省客は手伝う代わりに旅費補助

◎環境美化

- ・草刈り、法面整備
- ・ゴミ箱の持ち歩き推進

◎飲食店の連携（開店日など）

